

【警察本部】

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説 明
警察運営費	1,203,320 (1,163,658)	<p>① 「命の大切さを学ぶ教室」推進事業 1,234</p> <p>将来の社会を担う中学・高校生を対象に、犯罪被害者遺族等を講師とする「命の大切さを学ぶ教室」を開催し、社会全体の規範意識の向上を図る。</p>
	国 651	
	使 348,409	
	財 11,824	<p>② 性犯罪被害者への支援強化事業 1,302</p> <p>性犯罪被害者に対して、性感染症などの検査にかかる再診料及び検査費用を公費負担し、被害者への支援を強化する。</p>
	諸 35,369	
	○ 807,067	
装備費	450,318 (475,504)	<p>① P H V パトカーを利用した停電時の交通信号機への電源供給事業 9,785</p> <p>停電時に滅灯した交通信号機へ電源を供給し、スムーズな交通流を確保するため、P H V パトカーを導入整備する。</p>
	国 156,697	
	○ 293,621	
警察施設費	2,714,405 (1,951,628)	<p>1 近江八幡警察署移転新築整備 1,478,107</p> <p>老朽・狭隘著しく、耐震基準を満たしていない近江八幡警察署の移転新築整備に伴い、用地の取得及び平成26年度に引き続き新庁舎の建築、署長公舎の新築、現庁舎の解体を行う。</p>
	国 293,955	
	財 62,565	
	起 1,635,100	<p>2 甲賀警察署移転新築整備 719,664</p> <p>老朽・狭隘著しく、耐震基準を満たしていない甲賀警察署の移転新築整備に伴い、用地の取得及び庁舎新築工事にかかる設計委託、放送電波受信障害事前調査を行う。</p>
	基 3,403	
	○ 719,382	<p>3 警察本部長公舎等の新築整備 140,161</p> <p>老朽化著しく倒壊の危険性がある大津警察署長公舎の更新に際し、同所に警察本部長等の合同公舎を併設して、突発重要事案の発生などの有事における指揮命令権者等の居所の耐震化を図るとともに、同様に老朽化著しい大津北警察署長公舎を更新する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>4 交番・駐在所の新築整備 271,594</p> <p>地域防災の最前線基地となる県下全ての交番・駐在所のうち経年劣化による老朽化が著しく、地震等の発生時に倒壊の危険性がある7施設を新築整備する。</p>
刑事警察費	<p>498,452 (412,548)</p> <p>国 16,326</p> <p>使 50,845</p> <p>○ 431,281</p>	<p>重1 犯罪の起きにくい社会づくり推進事業 4,244</p> <p>犯罪の起きにくい社会を実現するため、重層的な防犯ネットワークを構築してボランティア活動の活性化を図るとともに、積極的な情報発信により県民の防犯意識の高揚を図る。</p> <p>新重2 高齢者を振り込め詐欺から守るシルバーガード推進事業 11,626</p> <p>高齢者を振り込め詐欺等の特殊詐欺から守るため、高齢者による高齢者への防犯指導を行うとともに、独居高齢者世帯への訪問や郵送等を通じて直接的な啓発活動を推進する。</p> <p>新重3 安全・安心なサイバー空間構築推進事業 5,582</p> <p>サイバー空間の浄化等を目的としたサイバーボランティアによる多岐の活動を積極的に支援し、社会全体でサイバー空間の脅威に立ち向かう気運を醸成するとともに、サイバー犯罪への捜査力を強化して、安全・安心なサイバー空間を構築する。</p> <p>重4 少年の立ち直り（社会参加・貢献活動）支援事業 1,360</p> <p>少年の健全育成に資する活動を地域ぐるみで活性化し、非行少年を生まない社会づくりを推進するとともに、少年の規範意識の向上と立ち直り支援を目的とした農業体験活動、環境浄化活動等の社会参加・貢献活動型の取組みを推進する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
交通指導取締費	1,928,225 (1,820,525)	<p>重1 高齢者交通安全対策事業 3,599</p> <p>高齢者の交通事故発生が予測される地域を「思いやりゾーン」と設定し、総合的な交通事故防止対策を展開して、安全・安心な交通環境の構築及び反射材の普及促進を図る。</p>
国	324,039	
使	249,740	
諸	108,852	<p>重2 高齢者対象運転免許自主返納促進事業 495</p> <p>高齢運転者による交通事故が増加する中、高齢者が運転免許証を返納しやすい社会環境を構築し、自主返納気運の醸成を図る。</p>
起	309,700	
⊖	935,894	<p>重3 児童・生徒を交通事故から守る「おうみ通学路交通アドバイザー」等事業 4,854</p> <p>おうみ通学路交通アドバイザー制度を継続し、安全で安心な通学路の環境を持続するとともに、スタントマンによる交通安全教室の開催等により、児童・生徒の交通規範意識の向上を図る。</p>
		<p>新重4 新たな交通分析手法等に基づくシステム構築事業 3,116</p> <p>警察庁のモデル事業として、交通事故分析に交通取締り情報や道路管理者情報を追加する等して多角的な分析を行う次世代型の交通事故分析システムを構築する。</p>
		<p>5 補助交通安全施設整備事業 510,003</p> <p>(1) 交通管制センターの整備 237,400</p> <p>交通の安全と円滑化を推進するため、交通情報収集のための集中制御機の更新等を行う。</p>
		<p>(2) 交通信号機改良整備 101,922</p> <p>交通規制の効率化や高齢者等交通弱者の安全を図るため、視覚障害者付加装置の新設や歩車分離化などの信号機改良整備を行う。</p>
		<p>(3) 円滑化対策事業 90,867</p> <p>慢性的な交通渋滞の解消を図るため、集中制御機の改良や交通情報収集装置の更新を進めるとともに、信号灯器等の更新整備を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>(4) ゾーン・通学路対策事業 48,594</p> <p>最高速度を時速30kmに規制する区域を「ゾーン30」地区と設定し、歩行者の通行を最優先とした道路交通安全を確保する。</p> <p>6 単独交通安全施設整備事業 283,893</p> <p>(1) 交通信号機の整備 139,878</p> <p>老朽化した信号制御機や信号柱の更新、信号灯器の整備等を行う。</p> <p>(2) 道路標識・標示の整備 50,861</p> <p>道路標識・道路標示の新設及び老朽施設の更新を行う。</p>